

旭川モーニングロータリークラブ 広報IT委員会の奉仕事業

コロナ禍であっても行動できる奉仕活動

広報モニュメント(修復)とロータリーの友贈呈プロジェクト

広報IT委員会委員長 河崎高麗男

広報IT委員会の奉仕事業“広報モニュメント(修復)プロジェクト”完成お披露目・引き渡し式が10月25日常磐公園の広報モニュメント現地で、あいにくの雨模様の中、除幕お披露目を行い、千鳥ヶ池淵の東屋でセレモニーが行われた。



広報IT委員会の目的は、一般の人々にロータリーの情報を提供し、クラブ奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立てこの目標を実施することにあります。

今年度計画されていた社会奉仕プロジェクトが新型コロナウイルスにより中止となり、急遽、広報IT委員会の奉仕事業として国際ロータリー奉仕の重点分野の基本方針に沿う“水と衛生・経済と地域社会の発展”のプロジェクトの一つとして実施する事に致しました。

旭川モーニング RC は永年“水と衛生”のプロジェクトを手掛けて来た中で特に市民の憩いの場である千鳥ヶ池の水浄化では小学生作文コンクールや、濁りや悪臭の改善で旭川市に浄化活動として、木炭の活用・二枚貝の放流飼育、凝固剤の散布、水流での浄化ヘドロの除去等のプロジェクトを提案させて頂きながら、水浄化運動で“守るも 汚すも私たち 水は私たちの宝物 千鳥ヶ池をきれいにしよう”と創立15周年を記念して全市民に呼び掛ける広報モニュメントを設置し旭川市に寄贈したものである。



今では、悪臭も少なくなり透明度も少し良くなり市民の憩いの場となっているがその広報モニュメントも十数年も過ぎると劣化が著しく進み色あせや輝が入り見窄らしくなっているため、此処できれいに修復

“とどけよう 綺麗な地球を 未来まで 千鳥ヶ池の清き水辺”をと、リニューアルし蘇えったモニュメントを旭川市に提供させて頂き、意識を喚起して千鳥ヶ池を市民の憩いの場として市民と共に環境、水資源の啓蒙を広げていく広報モニュメントに作成して、市民へのロータリークラブの活動を紹介しながら千鳥ヶ池を大切にしようとする市民へ喚起の広報モニュメントを復活させました。

セレモニーでは河崎広報IT委員会委員長の司会でプロジェクトとの趣旨説明で開会され、木村会長、坂本幹事、来賓のRI2500 第三分区竹内ガバーナ補佐、旭川市を代表して旭川市土木部次長 田島 章博 様にて除幕お披露目式が行われた。



木村会長は挨拶で「水資源保護活動、千鳥ヶ池浄化・広報修復プロジェクト」にご参加頂き感謝のことば、モーニングクラブの創立15周年に広報モニュメントを寄贈させていただき13年が経とうとしております。そして今



幕お披露目式が行われた。

回モニュメントを修復させていただき、もう一度旭川市民の大切なシンボルの一つである常盤公園そして千鳥ヶ池の浄化活動に市民の皆様にも呼び掛けることが出来ればと思っております。

今後益々市民の憩いの場として愛されるようモーニングロータリークラブとしても旭川市と共に活動を続けて参ります。

私個人として昔母と遊んだ思い出の場所、彼女との照れながらのボートデートをした特別な場所でもあります。そのような思い出のある市民は多いのではないのでしょうか。次の更に次の世代にもきれいなまま想いを物語に紡ぐことができればと思っております。みんなできれいにしていきたいと思います。今後の決意を述べられた。

来賓のRI2500 第三分区竹内ガバナー補佐からは、旭川モーニングロータリークラブの千鳥ヶ池浄化広報モニュメントのリニューアル事業の完了、お引渡しの場に同席させていただき誠にありがとうございます。旭川市民の憩いの場の一つである、常盤公園そしてその象徴である千鳥ヶ池に、川モーニングロータリークラブの浄化広報モニュメントを設置され、そして今般のリニューアルは、従来から様々な水にかかわる奉仕活動、社会奉仕を実践し継続している証であり、同じ、国際ロータリー第2500地区、第3分区のロータリークラブの仲間として素晴らしい奉仕活動だなあと感じているところであります。



本年度は、新型コロナウイルスの蔓延の状況の中、各ロータリークラブ奉仕活動も停滞を余儀なくされているところでもありますので、この時期の活動は本当に意義深い活動だと思います。

もう少しで雪の季節を迎えますが、これから、たくさんの方にモニュメントを見ていただくことでここ千鳥ヶ池の美化や身近な環境、水資源についての啓蒙の一助になることを願ってやみません。と挨拶を頂いた。

木村会長より旭川市に旭川市土木部次長 田島章博様にモニュメントの引き渡し証を渡す。



旭川市を代表して旭川市土木部田島章博次長様に挨拶を頂く



旭川市土木部田島章博次長は、モニュメントの引き渡し証を頂き環境水と衛生に取り組み特にこの千鳥ヶ池の浄化運動の市民ぐるみの活動に感謝を述べられ、千鳥ヶ池の歴史と池の浄化活動で水利権の問題で掘り水確保のなどで管理の難しい中でこの素晴らしい都心の千鳥ヶ池を市民の憩いの場所として更なる努力を進めて行きたい、今後ともに環境と水と

衛生、旭川モーニングロータリークラブの活動に感謝を述べられ、旭川市長よりの感謝状が木村会長に贈られた。



セレモニー終了後、社会奉仕委員会を中心に公園のゴミ拾いを予定していたが、生憎の悪天候に中止となったが我々に奉仕事業に協賛して集まって頂いた“龍馬の会青年部”がセレモニーを盛り上げて頂き他団体との交流が出来た事は、今後のロータリーに大きな意義ある活動が出来ると大いに期待しているところです。このセレモニーの様子は、“北海道新聞”をはじめ地域月刊誌“北海道経済・月間グラフ旭川”に掲載広報された。今年度は新型コロナの影響により三蜜の行動に自粛が求められた中であつたが十二分な行動に事業が出来た事に感謝している。

ロータリーの友贈呈プロジェクトとして広報IT委員会では地域の皆さんに



ロータリーを理解してもらおうとロータリーの友を毎月5冊旭川中央図書館に寄贈をつづけ住民の皆様にもロータリークラブの活動に理解を深めて頂けるよう努めている処であります。また、旭川市中央図書館にロータリーコーナーの設置をと働きかけているところです。



(旭川市中央図書館西野明子館長にロータリーの友を寄贈する 河崎高麗男委員長と坂本信一幹事)